

資料編

資料 1 都市公園等の機能分類

1) 公園機能分類の定義(再掲)

「都市公園のストック効果向上に向けた手引き(平成 28(2016)年 国土交通省)」における都市公園のストック効果分類を参考に、本市の都市公園等が持つ機能の特性を踏まえ、以下のとおり機能分類を行いました。

本市における都市公園等機能分類

機能タイプ	機能の概要	評価項目	評価基準
遊び型	遊具があり、子どもの遊べる環境が整っている都市公園等	一般遊具	ブランコ、滑り台等の一般的な遊具の有無
		複合遊具	複合・コンビネーション遊具の有無
休養型	日常生活における休憩の場として、周辺住民が休憩や談笑等ができる都市公園等	休養施設	ベンチ、パーゴラ、四阿等の有無
スポーツ型	運動に係る専用施設等を活用し、運動ができる都市公園等	スポーツ施設	バックネット、バスケットゴール等の球技ができるスポーツ施設の有無
健康増進型	軽い運動や健康を意識した運動ができる都市公園等	健康遊具	背伸ばしベンチ等のストレッチや軽い運動等ができる健康器具の有無
		園路	ウォーキングができる周遊園路の有無
コミュニティ育成型	清掃活動等、地域により管理がなされている都市公園等	コミュニティ育成活動	公園愛護会の対象公園または、地元により管理がなされている公園
防災型	災害時に一時的な避難場所としての機能や、延焼遮断機能を有する都市公園等	防災施設	指定緊急避難場所、防災ヘリポート適地、防災倉庫のいずれかの有無

2) 機能分類別の都市公園等配置状況

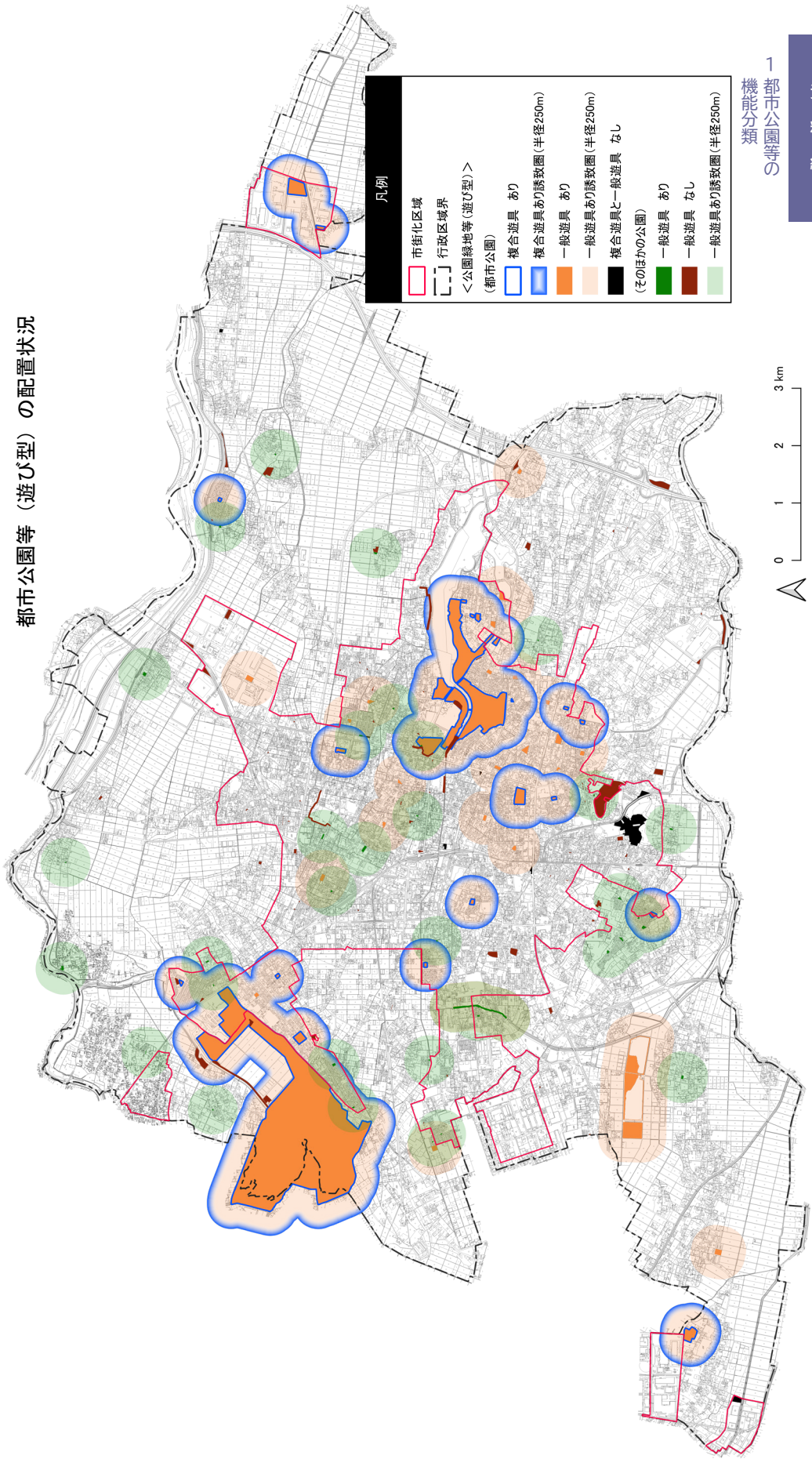
次頁から、市全域と地域からみた都市公園等の機能分類別の配置状況を示します。

① 市全域からみた機能分類別の都市公園等配置状況

◆ 遊び型

ブランコ、滑り台等の一般的な遊具を有する都市公園等(遊び型)は、都市公園は42か所、そのほかの公園は34か所です。そのうち、複合・コンビネーション遊具を有する都市公園は18か所であり、そのほかの公園にはありません。市街化区域の全域に満遍なく配置されており、6機能のうち遊び型は、都市公園では2番目に多く、そのほかの公園では3番目に多い状況です。

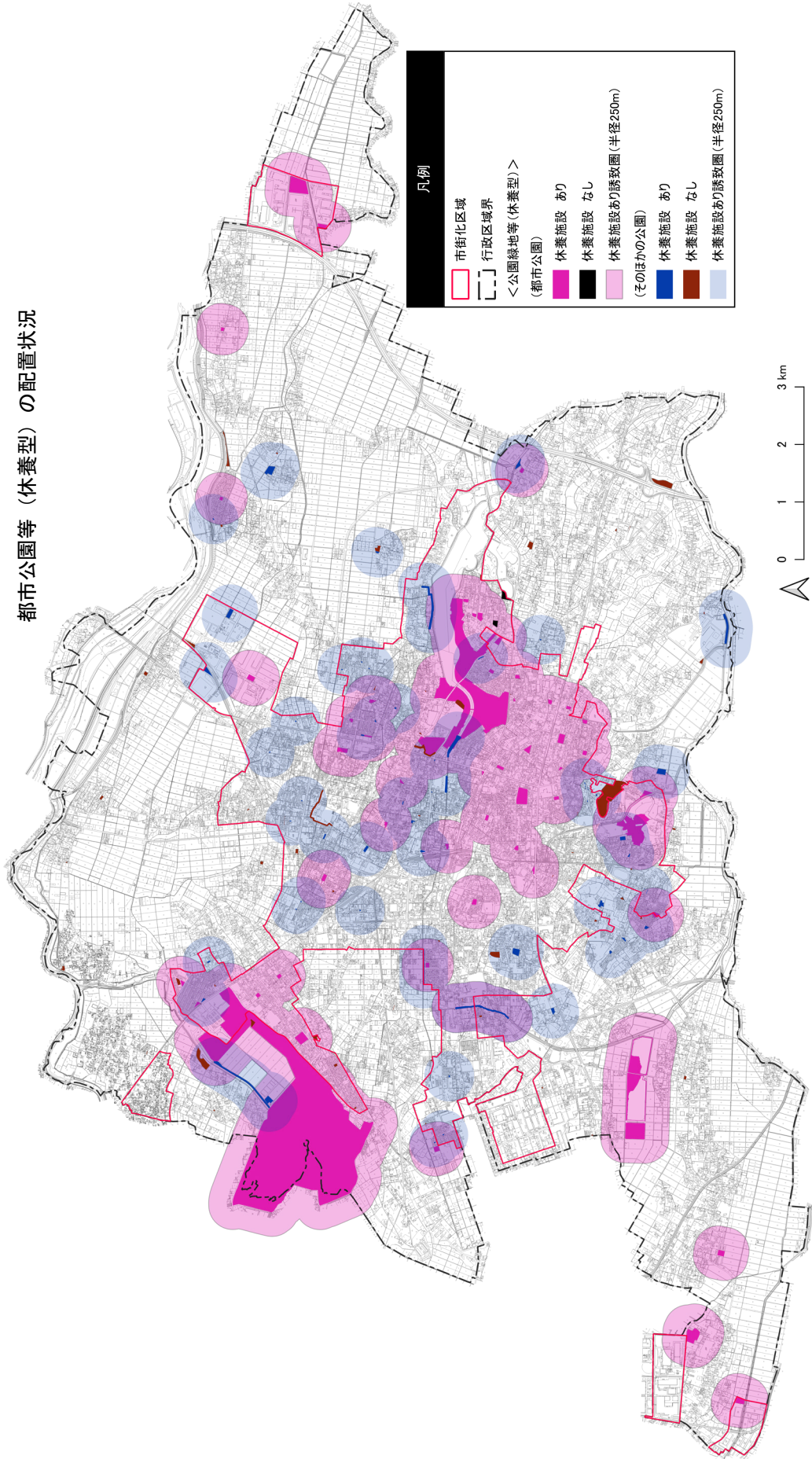
都市公園等(遊び型)の配置状況



◆ 休養型

ベンチ、パーゴラ、四阿等を有する都市公園等(休養型)は、都市公園は 48 か所、そのほかの公園は 54 か所です。市街化区域の全域に満遍なく配置されており、6 機能のうち休養型は、都市公園は最も多く、そのほかの公園では 2 番目に多い状況です。

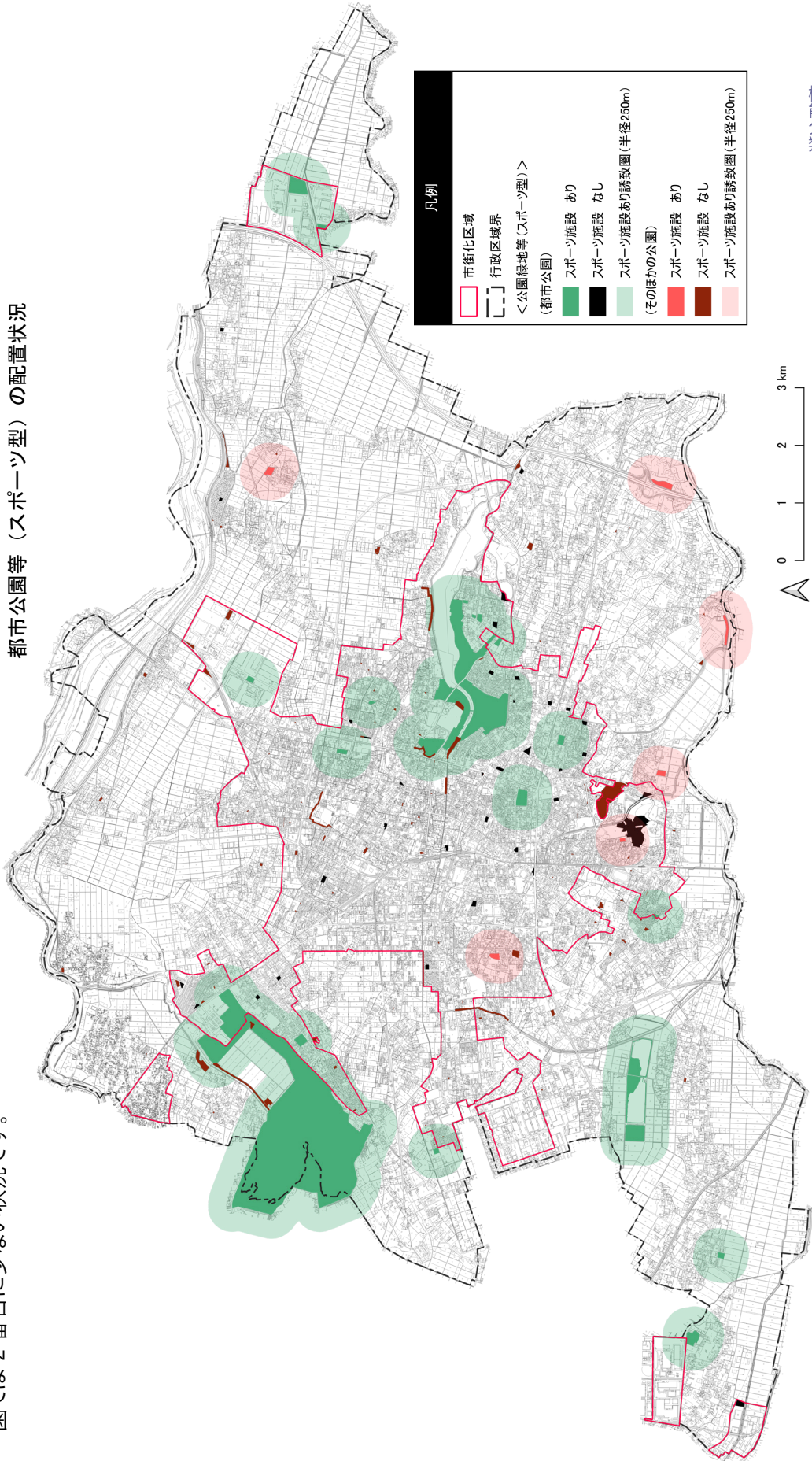
都市公園等（休養型）の配置状況



◆ スポーツ型

バックネット、バスケットゴール等の球技ができるスポーツ施設を有する都市公園等(スポーツ型)は、都市公園は14か所、そのほかの公園は6か所です。市街化区域内の東部に多く占めており、配置に偏りがみられます。6機能のうちスポーツ型は、都市公園では最も少なく、そのほかの公園では2番目に少ない状況です。

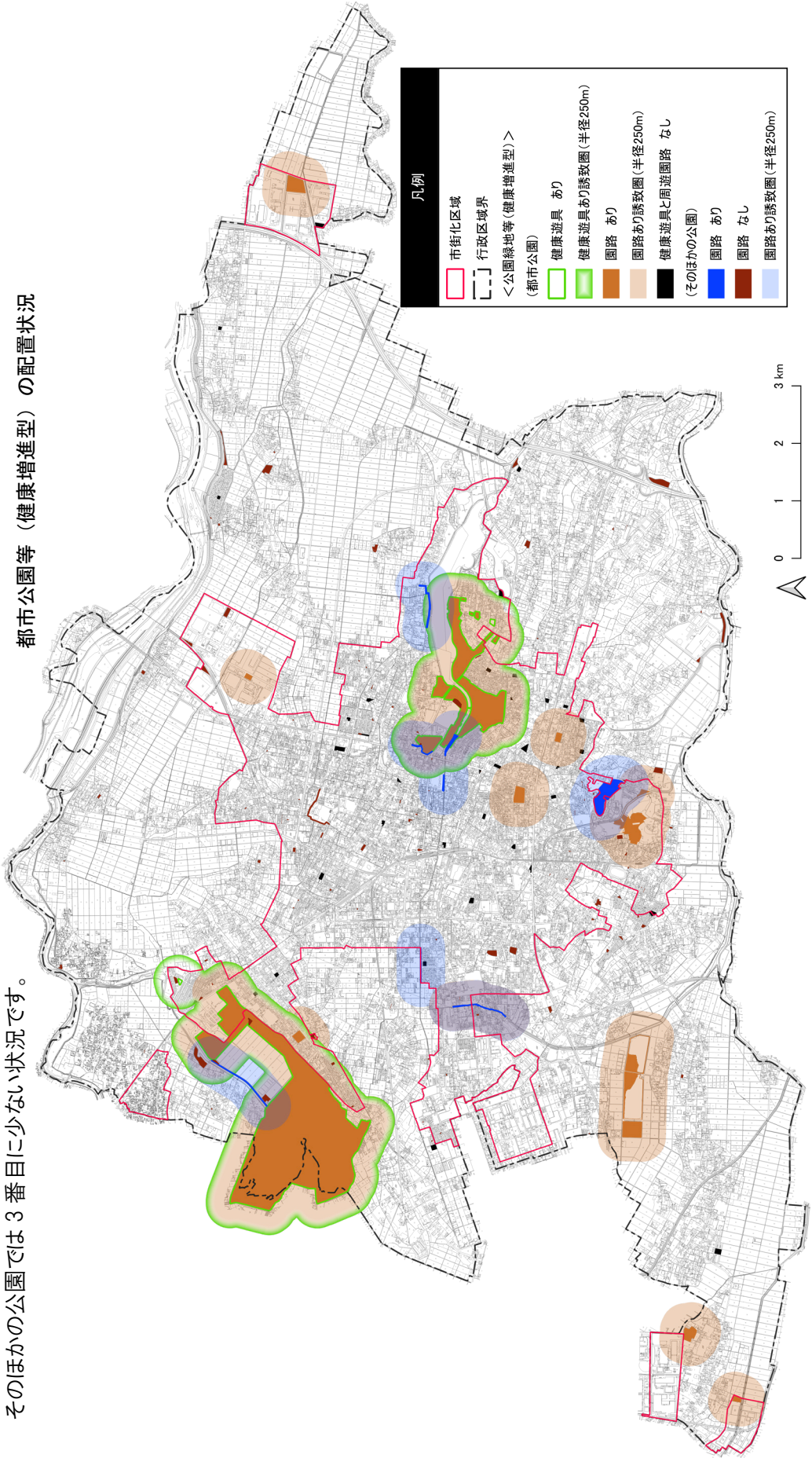
都市公園等(スポーツ型)の配置状況



◆ 健康増進型

背伸ばしベンチ等のストレッチや軽い運動等ができる健康器具を有する都市公園等(健康増進型)は、都市公園に4か所あり、そのほかの公園にはありません。また、ウォーキングができる周遊園路を有する都市公園等(健康増進型)は、都市公園は12か所、そのほかの公園は8か所あります。市街化区域内の東部に多く占めており、配置に偏りがみられます。6機能のうち健康増進型は、スポーツ型と同様に都市公園は最も少なく、そのほかの公園では3番目に少ない状況です。

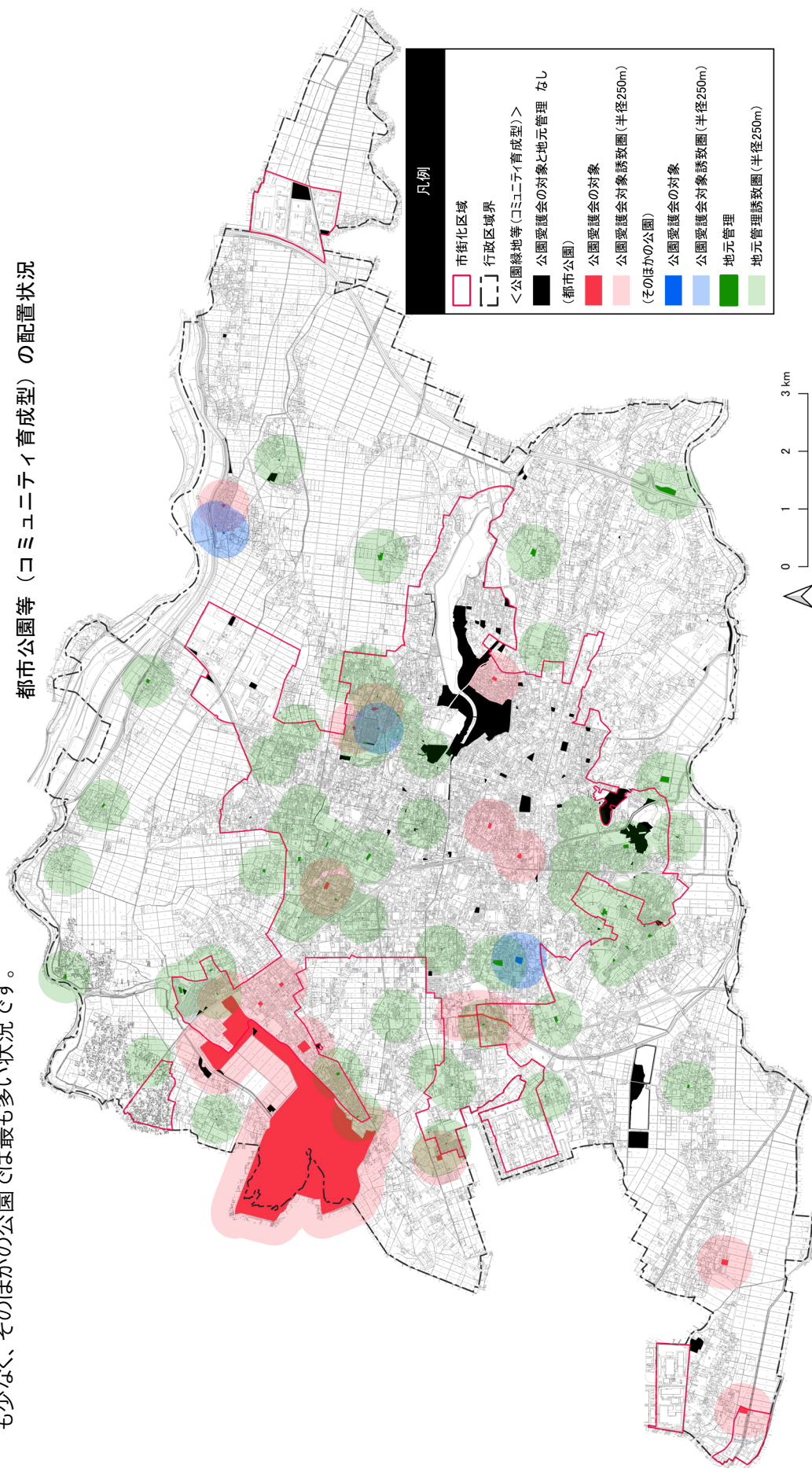
都市公園等(健康増進型)の配置状況



◆ コミュニティ育成型

公園愛護会の対象公園が 15 か所、そのほかの公園が 4 か所あります。地元により管理がなされている都市公園等(コミュニティ育成型)は、そのほかの公園が 63 か所です。市街化区域の全域に満遍なく配置されており、6 機能のうちコミュニティ育成型は、最も少なく、そのほかの公園では最も多い状況です。

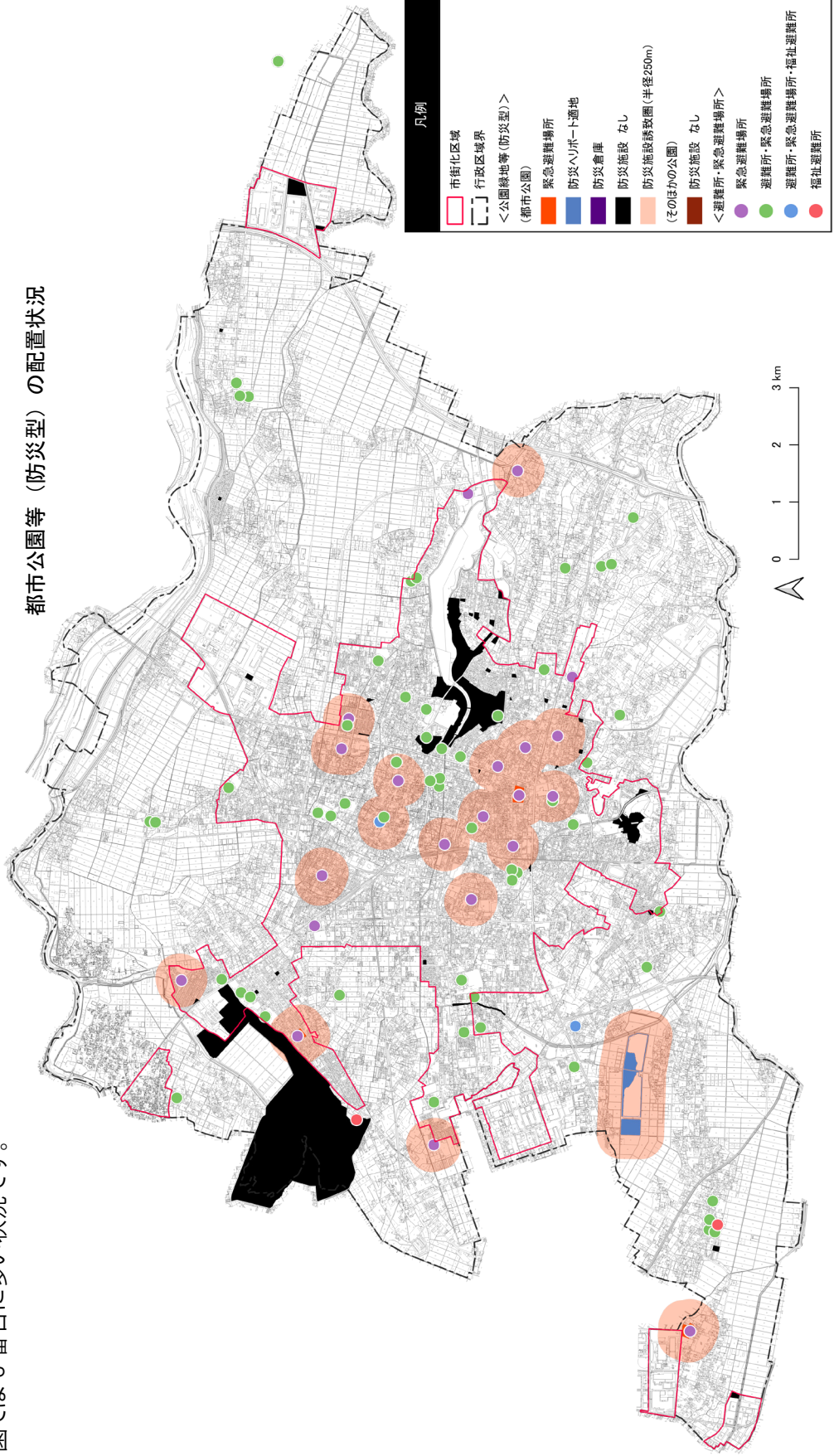
都市公園等（コミュニティ育成型）の配置状況



◆ 防災型

防災機能をもつ公園は都市公園のみです。緊急避難場所である都市公園等(防災型)は、18 か所、防災ヘリポート適地である都市公園等(防災型)は 1 か所、防災倉庫を有する都市公園等(防災型)は 1 か所です。市の中心部に集中して配置されており、6 機能のうち防災型は、都市公園では 3 番目に多い状況です。

都市公園等（防災型）の配置状況

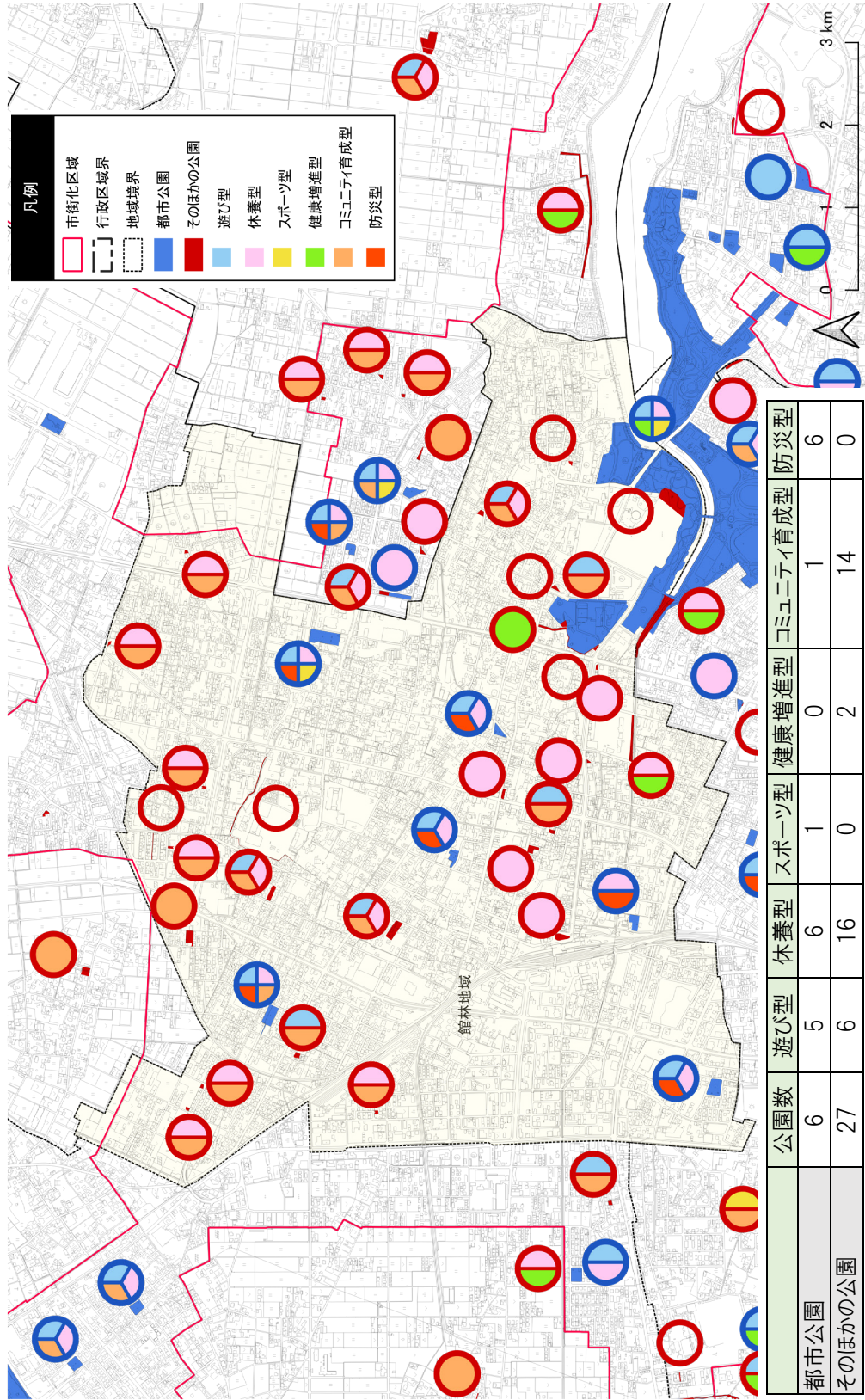


② 地域別にみた機能分類別の都市公園等配置状況

◆ 館林地域

地域内に満遍なく配置されています。都市公園は休養型、防災型が多く、そのほかの公園は休養型、コミュニティ育成型、コミュニティ育成型が多い状況です。

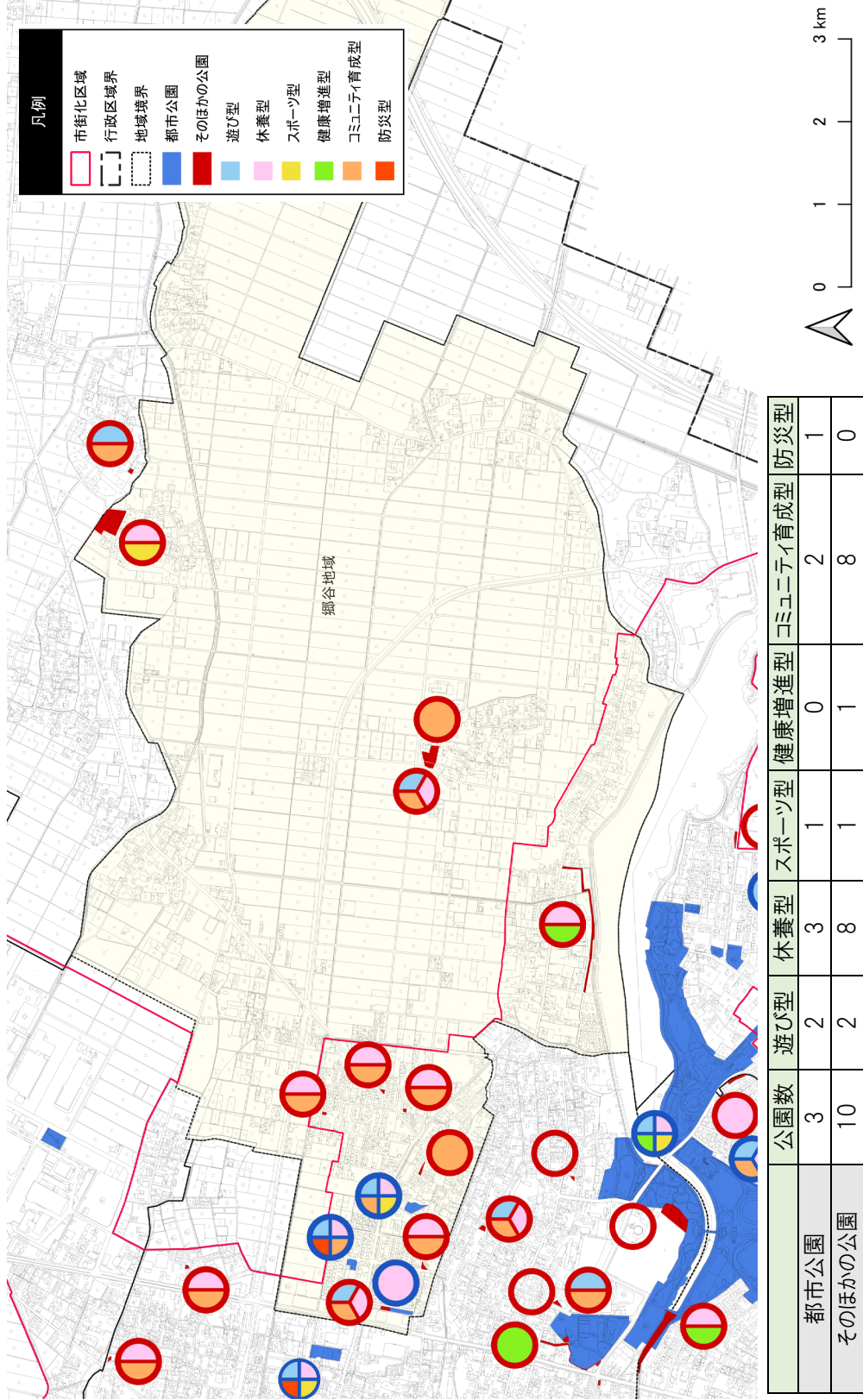
公園機能分布図（館林地域）



◆ 郷谷地域

集落に集中して配置されています。都市公園は休養型、遊び型が多く、そのほかの公園は休養型、遊び型、コミュニティ育成型が多い状況です。

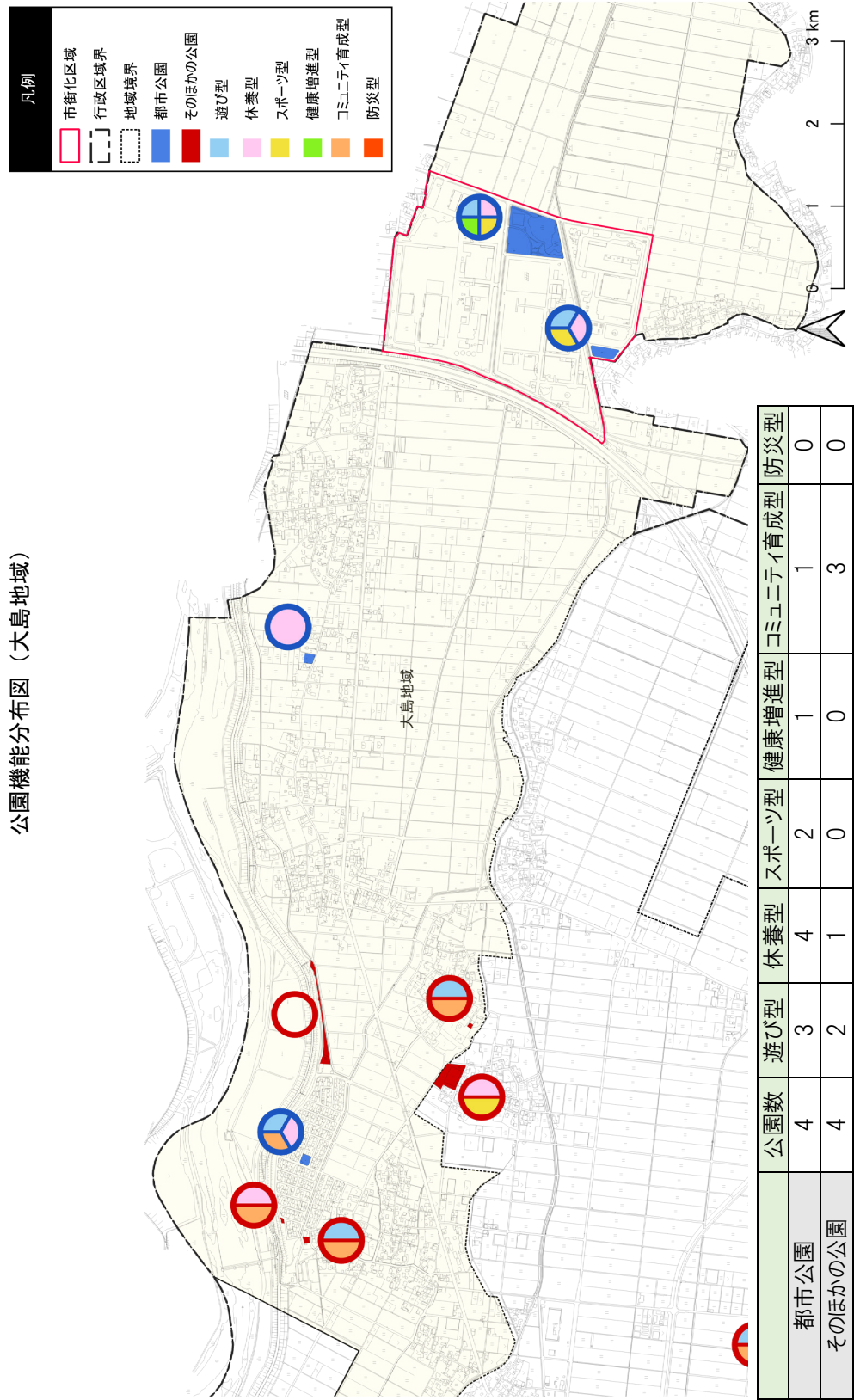
公園機能分布図（郷谷地域）



◆ 大島地域

集落に集中して配置されています。都市公園は休養型、遊び型が多く、そのほかの公園は遊び型が多い状況です。

公園機能分布図（大島地域）



資料 1

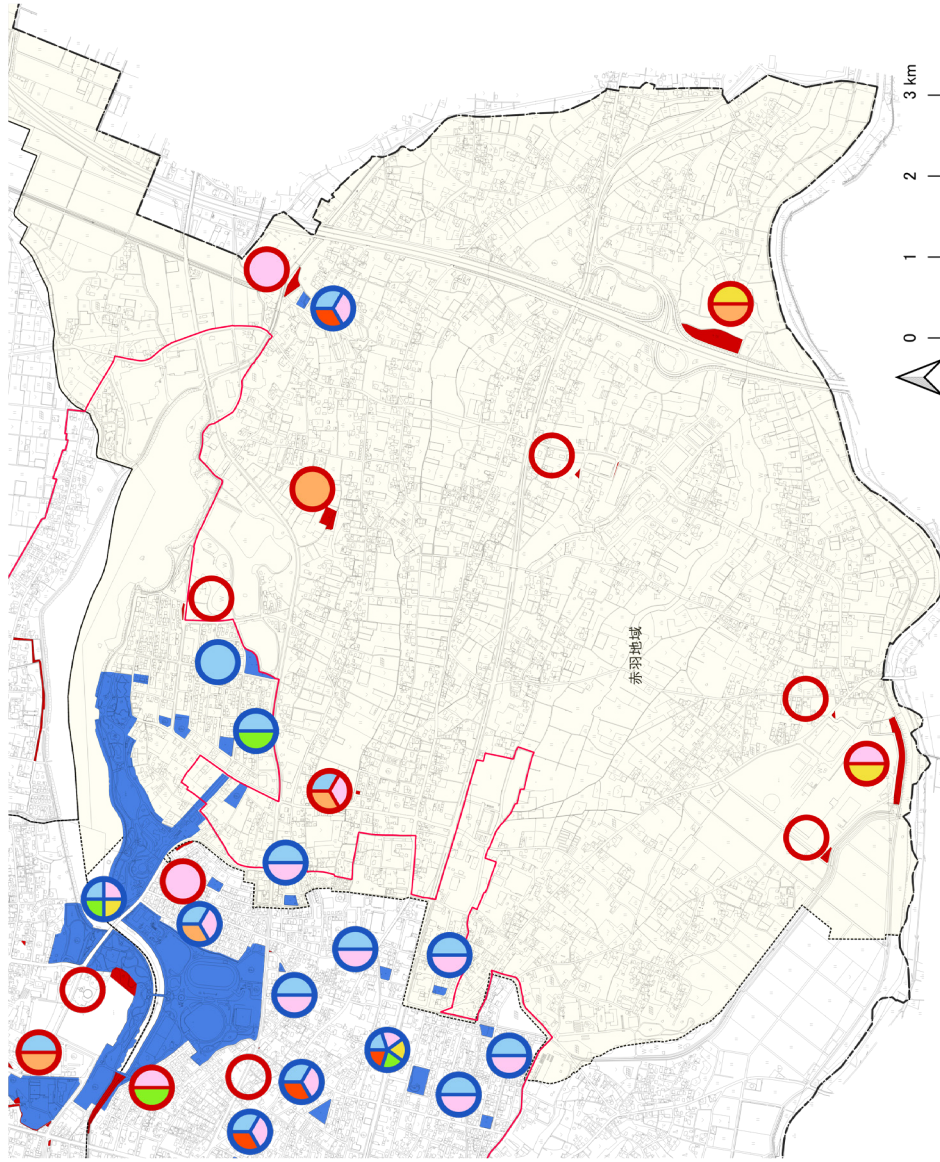
資料 2

資料 3

◆ 赤羽地域

集落に集中して配置されています。都市公園は遊び型、休養型が多く、そのほかの公園は休養型、コミュニティ育成型が多い状況です。

公園機能分布図（赤羽地域）



凡例

	市街化区域
	行政区境界
	地域境界
	都市公園
	そのほかの公園
	遊び型
	休養型
	スポーツ型
	健康増進型
	コミュニティ育成型
	防災型

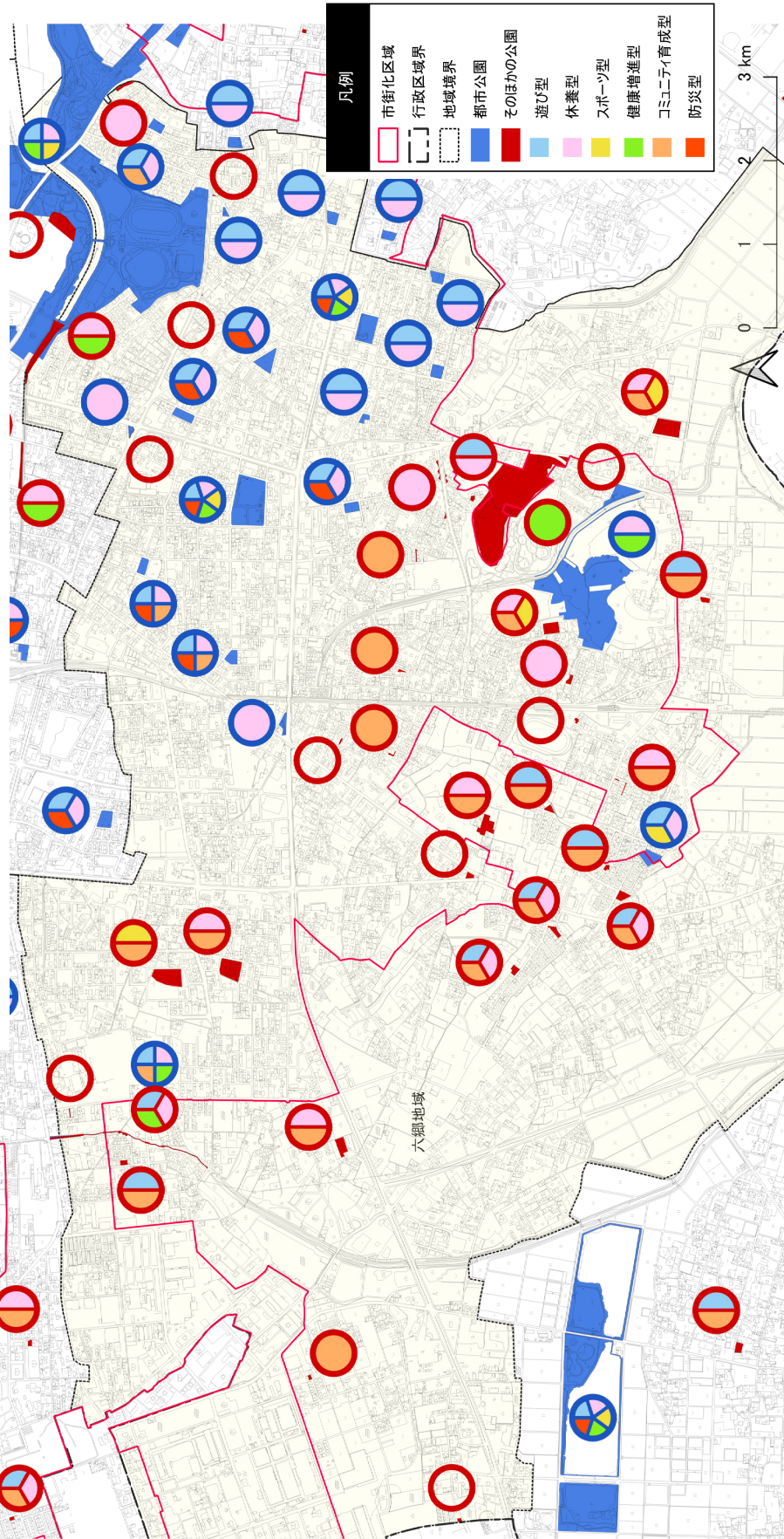
	公園数	遊び型	休養型	スポーツ型	健康増進型	コミュニティ育成型	防災型
都市公園	5	5	3	0	1	0	1
そのほかの公園	9	1	3	2	0	3	0

◆ 六郷地域

地域内に満遍なく配置されており、公園数は都市公園・そのほかの公園ともに 8 地域のうち最も多くなっています。都市公園は休養型、遊び型が多く、そのほかの公園はコミュニティ育成型、健康増進型、スポーツ型、休養型が多い状況です。

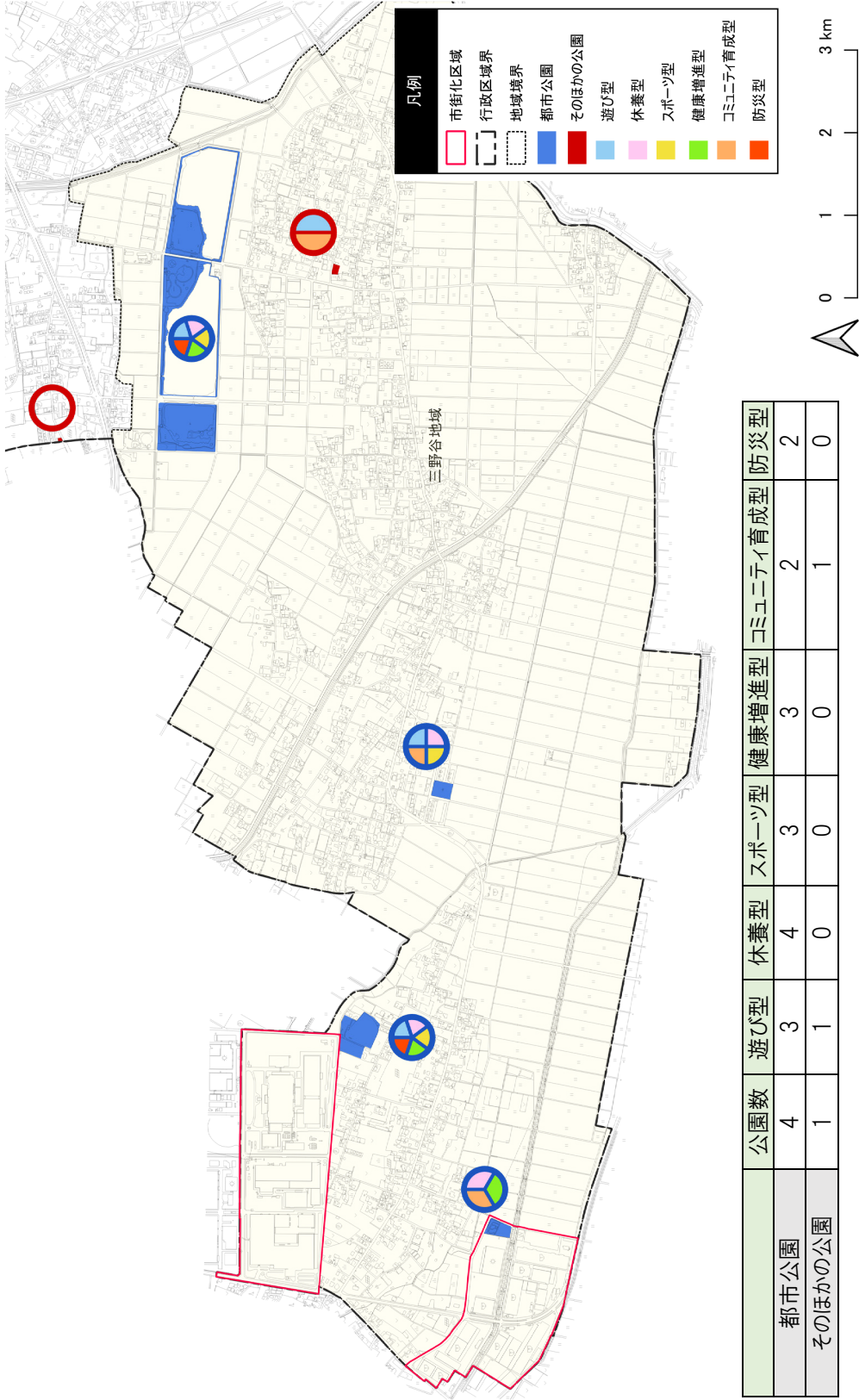
公園機能分布図（六郷地域）

	公園数	遊び型	休養型	スポーツ型	健康増進型	コミュニティ育成型	防災型
都市公園	19	16	19	4	5	4	7
そのほかの公園	34	9	15	3	3	18	0



◆ 三野谷地域

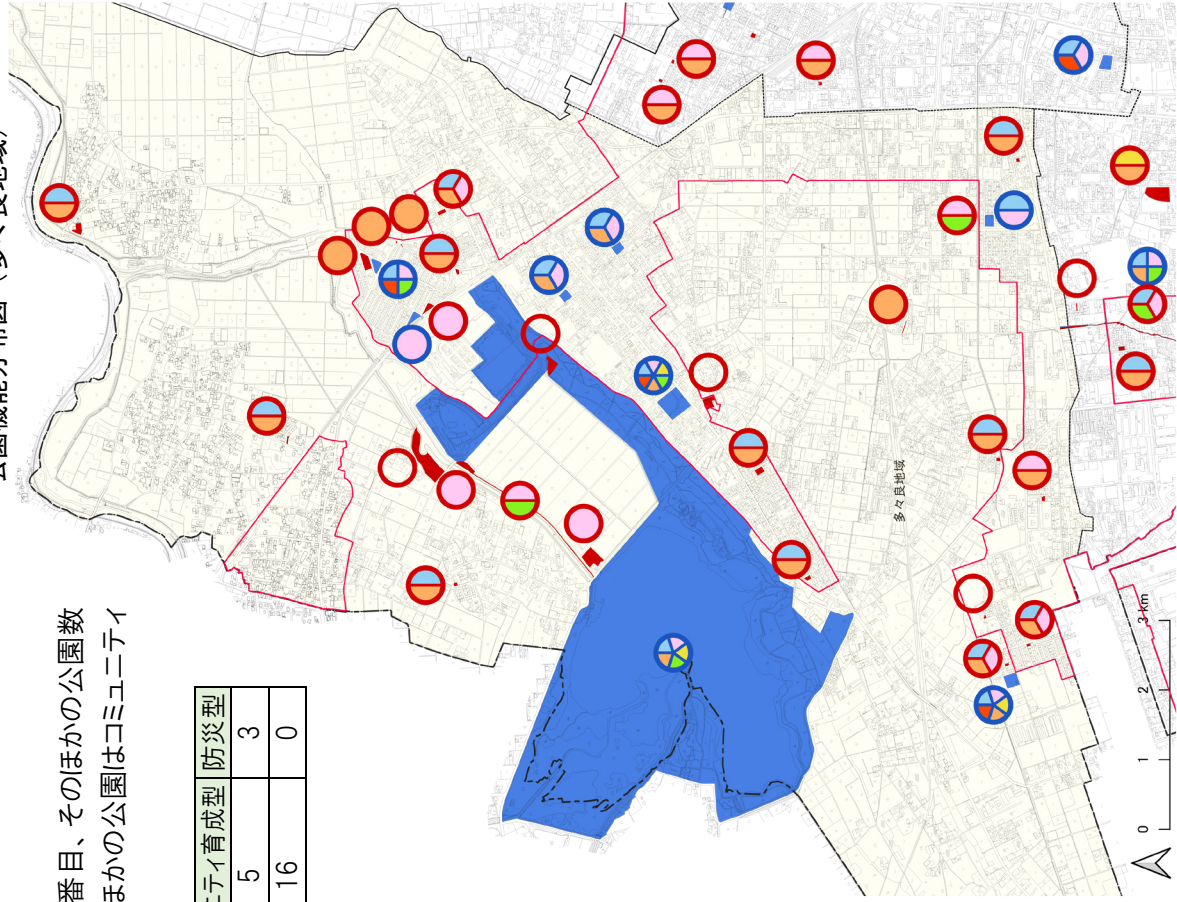
集落に点在しています。都市公園・そのほかの公園ともに、公園数は少ないですが複数機能をもつ公園が多い状況です。
公園機能分布図（三野谷地域）



公園機能分布図（多々良地域）

◆ 多々良地域
市街化区域内に多く配置されており、8 地域のうち都市公園数は 3 番目、そのほかの公園数は 2 番目に多くなっています。都市公園は休養型、遊び型が多く、そのほかの公園はコミュニティ育成型、遊び型が多い状況です。

	公園数	遊び型	休養型	スポーツ型	健康増進型	コミュニティ育成型	防災型
都市公園	8	7	8	2	3	5	3
そのほかの公園	25	11	9	0	2	16	0



凡例	
	市街化区域
	行政区境界
	地域境界
	都市公園
	そのほかの公園
	遊び型
	休養型
	スポーツ型
	健康増進型
	コミュニティ育成型
	防災型

◆ 渡瀬地域

集落に点在しており、都市公園数は 8 地域のうち最も少なくなっています。都市公園は複数機能をもち、そのほかの公園はコミュニティ育成型が多い状況です。

公園機能分布図（渡瀬地域）

	公園数	遊び型	休養型	スポーツ型	健康増進型	コミュニティ育成型	防災型
都市公園	1	1	1	1	1	0	0
そのほかの公園	8	2	2	0	0	4	0

